

令和元年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	市民部
部(局)長	西戸 浩詞
理事	山口 伸和(環境対策担当)

【基本姿勢】

市民部には、戸籍、住民基本台帳や人権、環境などを所管する市民生活に関わりが深い部署と、にぎわいのあるまちづくりのために産業の振興や地域との協働を推進する部署があります。

まず市民課では、市民の方々に寄り添った、親切かつ丁寧な対応を基本に迅速で質の高い窓口業務を提供することにより、市民満足度の向上に努めます。

人権施策については、人権が常に尊重される地域社会の実現に向け、部落差別やヘイトスピーチの解消などへの啓発や相談体制の充実に取組みます。

環境施策については、ごみの減量化を進めるとともに、地域のリサイクル活動を支援します。また、関係機関と連携し、河川の水質改善に努めます。

産業の振興については、地域や地元企業と連携し、人材育成と市内外へのさまざまなPRを通じて、現在すでにある柏原の魅力的なまち・ひと・しごとをつなぎ合わせることで活性化を図ります。

また、豊かな自然環境や歴史的な資源を活かし、交流人口の増加による観光振興と地域の活性化を図ります。

さらに、にぎわいのあるまちづくりのために、現在の自治会活動を支援するとともに、より一層安全なまちづくりのため、地域と一体になって防犯カメラやLED防犯灯の設置をはじめとした防犯対策を進めていきます。

これらにより、「日本一住みたいまち柏原」に一步でも近づくよう、知名度アップと交流人口や定住人口の増加を目指し、一人でも多くの方が本市を訪れ、また、住んでいただけるような施策に取り組んでいきます。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度達成状況
1	市民の利便性の向上	B
2	部落差別をはじめとする人権課題の解消に向けて、より一層の周知・啓発等の推進	B
3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの推進】	B
4	農業・商業・工業の振興	B
5	地域資源の活用による交流人口の増加	B
6	防犯対策の推進	A

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 1	市民の利便性の向上
--------	-----------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民の利便性の向上とマイナンバーカードの普及を促進します。
---------------------	-------------------------------

活動目標
市民の利便性が向上するコンビニ交付サービスについて、多くの方が利用できるよう取組みを行います。
コンビニ交付サービスの利用に必要となる、マイナンバーカードの更なる普及を目指します。

具体的な取組実績
コンビニ交付サービスについては、広報誌や市ウェブサイトなどで周知を図りました。また同サービスの利用に必要となるマイナンバーカードについては普及を促進し、カード交付時に今年度作成した『ご利用ガイド』の冊子を渡し、コンビニ交付サービスの説明を行いました。
マイナンバーカードの更なる普及については、新たに本庁でカード申請用写真の無料撮影場所を常設しました。またカードを所持する方が対象となるマイナポイント予約についても、制度周知に努め、カードの受け取り時など窓口で支援を行いました。

達成目標
コンビニ交付サービスの利点について、継続的に周知を行い、休日開庁やマイナンバーカードの申請・交付に関して、窓口でのわかりやすい説明を行います。
マイナンバーカードの人口に対する交付率20%を目指します。

達成状況	達成度
コンビニ交付サービスの利点について、広報誌や市ウェブサイトなどで周知を図りました。またマイナンバーカードの申請・交付時にマイナポイント予約の支援を含み丁寧に説明を行いました。	A 達成
マイナンバーカードの普及について、周知や休日開庁を継続して実施し、新たに本庁でカード申請用写真の無料撮影場所を常設したが、目標の交付率に達しませんでした。しかしながら、令和元年度は年度として初めて3,000名を超える市民の方にカード交付を行いました。	C 一部達成

総合評価・総括
<p>マイナンバーカードの普及については、周知を行うとともに平日にカードの受け取りが難しい市民の皆様を対象に継続的に休日開庁を行いました。またカード申請用写真の無料撮影も休日に実施しており、昨年5月からは本庁で常設の撮影場所を設けてカードの取得促進に努めました。その他、マイナポイント予約についても、制度周知に努め、カードの受け取り時など窓口で支援を行いました。</p> <p>今後は、マイナポイントや健康保険証利用に対応できるなどの多目的利用を見据え、新たにカード申請用写真の無料撮影サービスを市内企業などに出向き実施できるように検討を進め、引き続き取り組んでまいります。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 2	部落差別をはじめとする人権課題の解消に向けて、より一層の周知・啓発等の推進
--------	---------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	部落差別をはじめ、様々な人権課題についての周知・啓発等の推進と相談体制の充実を図ります。
---------------------	--

活動目標
<p>広報、市ウェブサイト及び市内公共施設等や各種行事を活用した啓発活動に加え、柏原市人権協会や大阪法務局などの関係機関と連携した啓発活動の更なる充実を図ります。</p> <p>また、相談窓口担当者連絡会議を活用し、相談体制の充実を図ります。</p>

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ・女と男のフォーラムや平和展などの人権に関する行事や総合フェスティバルで関係機関と協力して啓発チラシ等を配布 ・成人式で啓発リーフレットの配布 ・人権いろいろ相談の実施 ・相談員は毎年大阪府人権協会等が開催する研修、講座等を受講し、大阪府人権協会等の関係機関と連携した対応 ・相談窓口担当者連絡会議を開催し、困難事例などの情報交換等を実施 ・啓発パネルをフローラルセンターで常設展示

達成目標
市民意識調査の「人権教育」の満足度を前回数値より高めます。

達成状況	達成度
市民意識調査の満足度は前回値から微減してはいますが、継続的な啓発に努め、活動目標については概ね達成しました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>部落差別をはじめとする人権課題についての周知・啓発、相談事業の充実などについて、様々な機会をとらえて取り組みました。</p> <p>市民意識調査においては前年に比較して満足度が微減しましたが、人権課題への取組は継続することが重要と考えますので、効果的な取組となるよう工夫をしながら続けてまいります。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 3	安心して暮らせる生活環境の形成【ごみの分別、減量及びリサイクルの推進】
--------	-------------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	ごみの分別、減量及びリサイクルをより一層推進することにより、循環型社会の構築を目指します。
---------------------	---

活動目標
水銀による環境汚染を防止するため、水銀使用廃製品について、市内公共施設における拠点回収を実施します。
町会や子ども会などによる新聞紙等の集団回収事業を拡大します。

具体的な取組実績
平成30年6月1日から家庭で排出された水銀使用廃製品（蛍光灯、乾電池、水銀体温計）を市内公共施設で拠点回収を開始しています。 【回収拠点】教育センター、K・Iホール、自立支援センター、文化センター、健康福祉センター、玉手浄水場、国分出張所、国分図書館、堅上出張所
平成31年4月から令和元年12月までの集団回収による回収量は、802トン、令和2年3月現在の集団回収事業の登録団体数は、49団体となっています。

達成目標
市民意識調査の「資源の循環利用」、「地球温暖化防止」の満足度を前回数値より高めます。
集団回収による回収量と実施団体数を、前年度より増とすることを旨します。

達成状況	達成度
市民意識調査の満足度は、それぞれ前回数値より若干低い結果となり、目標を達成することは出来ませんでした。市広報誌などで継続的な啓発に努め、活動目標については概ね達成しました。	B 概ね達成
成果としては、集団回収事業による回収量は、前年度より低くなりましたが、登録団体は、3団体増加しました。	B 概ね達成

総合評価・総括
<p>循環型社会を構築する本市の取組として、環境教育や環境フェアの実施、町会や子供会などによる集団回収事業を拡大することにより、4R（リフューズ：発生回避、リデュース：排出抑制、リユース：再利用、リサイクル：再資源化）の推進が図られ、資源の循環利用にも寄与できました。</p> <p>また、水銀による環境汚染を防止し、市民の皆様の健康保護及び生活環境の保全を図るために、水銀使用廃製品の拠点回収に取り組み、令和2年2月末現在、蛍光灯389kg、乾電池類1,097kg回収しました。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 4	農業・商業・工業の振興
--------	-------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	農業・商業・工業ともに地域や地元企業と連携し、人材育成と市内外へのPRを通じて、活性化を図ります。
---------------------	---

活動目標
農業について、専業農家や後継者等への国・府・市補助事業の活用を促進します。
商工業者について、国の各種補助制度を活用していただけるような情報を提供します。

具体的な取組実績
産地パワーアップ事業（2件）・被災農業者向け経営体育成支援事業（2件）・大阪版認定農業者支援事業（5件）・農業後継者育成支援事業（3件）・鳥獣被害防止総合対策事業（1件）を実施
大阪府が実施するエリア魅力向上モデル事業（国分西）、商店街サポーター創出・活動支援事業（大正通り）の採択・実施支援 ものづくり補助金、生産性向上特別措置法による固定資産税の軽減、IT導入補助金、キャッシュレス・消費者還元事業、新型コロナ対策関係事業などの周知 プレミアム付商品券事業の実施

達成目標
農業関係の活用事業数（8件）
商工業関係の活用事業数（10件）

達成状況	達成度
農業関係の活用事業数（13件）	A 達成
商工業関係の活用事業数（9事業）	B 概ね達成

総合評価・総括
農業、商工業について、国や府の施策を地域の事業者へ情報提供しながら少しでも多くの事業について活用することにより、経営の安定化や、地域の活性化を図ることができた。

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 5	地域資源の活用による交流人口の増加
--------	-------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	豊かな自然環境や歴史的な資源を活かし、交流人口の増加による観光振興と地域活性化を図ります。
---------------------	---

活動目標
2市2町広域観光ルート（柏原市・香芝市・王寺町・三郷町）を活用した共通イベントを実施します。
三郷町との「3幸プロジェクト」により、バーチャルとリアルツアーを実施します。

具体的な取組実績
新型コロナウイルスの影響で、ウォーキングイベントは中止になりましたが、本市と香芝市のエリアでは、ラジオ番組での魅力スポット紹介とスタンプラリーを実施しました。
ウォーキングアプリである「歩いておトク」において、本市と三郷町の魅力スポットを紹介しました。 旅行商品として、本市と三郷町を巡るツアーを造成し、関西を中心とするエリアにパンフレットを配架しました。

達成目標
エリア全体の価値を高めることにより、柏原市の魅力や認知度を高め、多くの方が訪れるにぎわいあるまちを目指します。

達成状況	達成度
ウォーキングアプリでは、本市及び三郷町の魅力を発信し、述べ約40万人の利用があり、また、ラジオ番組での魅力スポットの紹介とリビエールホールでのイベントにより、認知度の向上と、本市へ来訪者の増加が図れました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>広域での今年度の最大イベントであった「ラジオウォーク」については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、止む無く中止となりましたが、その他の取り組みでは、一定本市を含めたエリアの魅力発信により価値向上を図ることが出来ました。</p> <p>また、昨年度に作成したウォーキングマップを活用したウォーキング協会などの各種団体によるウォーキング会で、来訪者の増加を図ることが出来ました。</p>

部(局)名	市民部
-------	-----

重点課題 6	防犯対策の推進
--------	---------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	自治会・町会が管理する防犯灯の完全LED化を今後5年間で実施します。(平成30年度末現在約70%) また、平成29年度に実施した自治会・町会要望調査に基づく自治会・町会設置の防犯カメラを3~4年程度で120台とします。(平成30年度末現在80台)
---------------------	--

活動目標
自治会・町会設置の防犯灯について、新設・取替合わせて400本以上をLED化します。
自治会・町会設置の防犯カメラについて、10台以上の新設を推進します。

具体的な取組実績
令和元年度の防犯灯LED化について、新設30本、取替380本の計410本実施しました。
令和元年度の自治会・町会設置の防犯カメラについて、15台の新設を推進しました。

達成目標
活動目標を確実に実施することによりLED化の進捗率の向上を図ります。
市民意識調査の「防犯体制」満足度を前回数値より高めめます。

達成状況	達成度
令和元年度末のLED化率は、5,033本/6,548本≒76.9%となり、計画どおり進捗しています。	A 達成
満足度3.15となり、前回値3.10より高まりました。	A 達成

総合評価・総括
設定した目標値はすべて達成しましたが、計画の途中段階でありますので、計画達成に向け引き続き取り組みを推進してまいります。